SONY

2-899-053-**02** (1)

インテリア CD チューナーシステム

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-CD7000

インテリア CD チューナーシステム
ICF-CD7000
T10-1001A-4

品　名
型　名
保証書

ここに保証書が入ります
Complete the film by inserting the warranty at this position.
在此處插入保證書完成菲林。
在此位置插入保证书以完成胶片。

主な特長

- イルミネーションライト
- CD-R/RW再生対応CDプレーヤー
- FM（TV1-3ch）/AM シンセサイザーチューナー
- 15局プリセット機能付き
- 外部音声入力ケーブル装備
- 見やすい大きな液晶表示
- おひるねタイマー（カウントダウンタイマー：10、20、30、60、90、120分）
- めざましくりかえし機能 — めざましを一度止めても繰り返し鳴らすことができます。またお好みの間隔でめざましを鳴らすことも可能です（10、20、30、40、50、60分）。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所に置かないでください。
  - 温度が非常に高い所（40℃以上）や低い所（0℃以下）。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 風呂場など湿気の多い所。
  - 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - ほこりの多い所。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ラジオの内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気が変化し、使えなくなることがあります。

CD に関するご注意

CD について

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CD-R/CD-RW について

本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

* CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

ご注意
- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R/CD-RWディスクは本機では再生できません。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり、雑音が入ったりすることがあります。

著作権保護技術付音楽ディスクについて

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。
最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

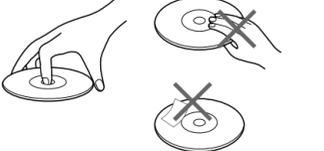
DualDisc ご使用においてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

結露について

本機やディスクを寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などは、本体内部のレンズやディスクに露がつき（結露）、正しく動作しないことがあります。ディスクを取り出して結露がとれるまで約1時間放置してください。正常に動作するようになります。何時間たっても正常に動作しない場合は、サービス窓口にご相談ください。

CD の取り扱いかた

- 文字の書かれていない面（演奏面）に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。

CD のお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に次のことをお調べください。

音が出ない
- 電源接続コードをコンセントにしっかり差し込む。
- 音量を調節する。

CDが動作しない/CDが入っているのに表示窓に「00」が5秒間点滅する
- レーベル面を上にしてCDを正しく入れる。
- CDのふたが閉まっていることを確認する。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- レンズに露（水滴）がついている→CDを取り出し、CDのふたを開けたまま約1時間放置する。

CDの音がとぶ
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- レンズの汚れ→クリーニングする。
- 振動のない場所に置く。
- 音量を下げる。
- CDに傷がある→CDを取り替える。

予約した時刻になってもCD、ラジオ、ブザーアラームが働かない
- 時計を正しい時刻に合わせる。
- アラーム設定時刻を確認する。
- 「ALARM A」または「ALARM B」が表示窓に表示しているか確認する。
- CDが正しく入っているか確認する。
- CDのふたが閉まっていることを確認する。
- VOLUMEの音量を確認する。

時計が初期状態に戻ってしまう
記憶させた放送局が消えている
停電で「AM 12:00」が点滅している
- バックアップ用のリチウム電池が消耗している→リチウム電池を交換する。

主な仕様

CD プレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウフラッター	測定限界以下（JEITA*1）
周波数特性	20～20,000 Hz $^{+1}_{-2}$ dB（JEITA）

ラジオ部

FM	76～90 MHz（TV 1~3チャンネル*2）
AM	531～1,629 kHz

共通部

時刻表示	12時間表示
スピーカー	直径 約5 cm、8 Ω 2個
入力端子	外部音声入力ケーブル装備（ステレオミニプラグ）1本 最小入力レベル 245 mV、負荷インピーダンス 47 kΩ
実用最大出力	1 W + 1 W（JEITA）
電源	本体用：AC 100V、50/60 Hz バックアップ用：DC 3V、リチウム電池 CR2032 1個
最大外形寸法	約170 × 136 × 204 mm（幅/高さ/奥行き）（最大突起部を含む）（JEITA）
質量	約1.7 kg（バックアップ用リチウム電池含む）

*1 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

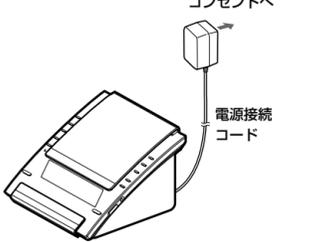
*2 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログ放送終了後は、本機ではテレビを聞くことはできません。

付属品
取扱説明書・保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

電源について

電源接続コードをつなぐ

電源接続コードをコンセントにしっかりと差し込みます。

ご注意
- 電源接続コードを無理に曲げたり、電源接続コードの上に重い物をのせたりしないでください。
- 電源接続コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。

時計設定について

本機には、バックアップ用のリチウム電池が入っており、時計はあらかじめ設定されています。
手動で時計をあわせる場合は、裏面の「カレンダーと時計を合わせる」をご覧ください。

バックアップ用のリチウム電池について

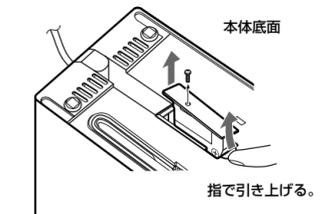
本機には、あらかじめバックアップ用のリチウム電池（CR2032）が入っています。このリチウム電池の残量が充分であれば、万一停電があっても時計は止まりません。

リチウム電池の交換時期について

リチウム電池が消耗してくると、表示窓に「⊂⊃」が点灯します。その場合は、新しいリチウム電池（ソニー製CR2032）と交換してください。

ご注意
- お買い上げ後、初めて電源接続コードをコンセントにつなげると、表示窓に「AM 12:00」が表示される場合があります。そのときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。
- 本機にあらかじめ入っているバックアップ用のリチウム電池は、お試し用です。お買い上げ後は新しい電池をお買い求めのうえ、交換してください。

バックアップ用のリチウム電池を交換するには

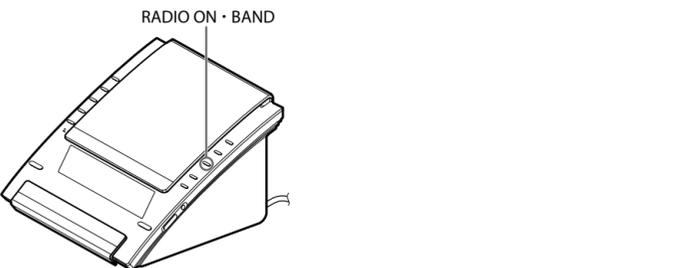
1. **電源接続コードをコンセントにつないだまま本体底面にある電池入れのネジをドライバーではずし、リチウム電池ホルダーを取り出す。**

2. **電池ホルダーから古い電池を取り出して、新しいリチウム電池CR2032を入れる。**

古いリチウム電池を矢印の方向に押して電池ホルダーから取り出す。

新しいリチウム電池の＋側を上にして電池ホルダーに入れる。

3. **電池ホルダーを本体に戻して、ネジを閉める。**

4. **RADIO ON・BAND ボタンを押す。**
表示窓の「⊂⊃」が消えます。

RADIO ON・BAND

ご注意
- 時間設定やめざまし設定、タイマー設定を保持するため、電池を交換するときは電源接続コードをコンセントに差したまま行ってください。

電池に関する警告
長い間ご使用にならないときは電池を取り出してください。過度の放電や液もれを防ぎます。

リチウム電池に関するご注意
- 電池残量のない電池はすぐに廃棄してください。電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、電池を乾いた布でよくふいてください。
- 電池を入れるときは＋と－を確かめてください。
- ピンセットなどの金属類と電池を一緒に携帯・保管しないでください。電池の＋と－が金属類とつながるとショートし、発熱することがあります。
- 直射日光や火の近くなど、温度の高いところに電池を置かないでください。

⚠警告
電池の＋と－の向きをまちがえて入れると破裂する恐れがあります。
付属の電池と同じ種類または同等のおすすめの電池をお使いください。

裏面へつづく

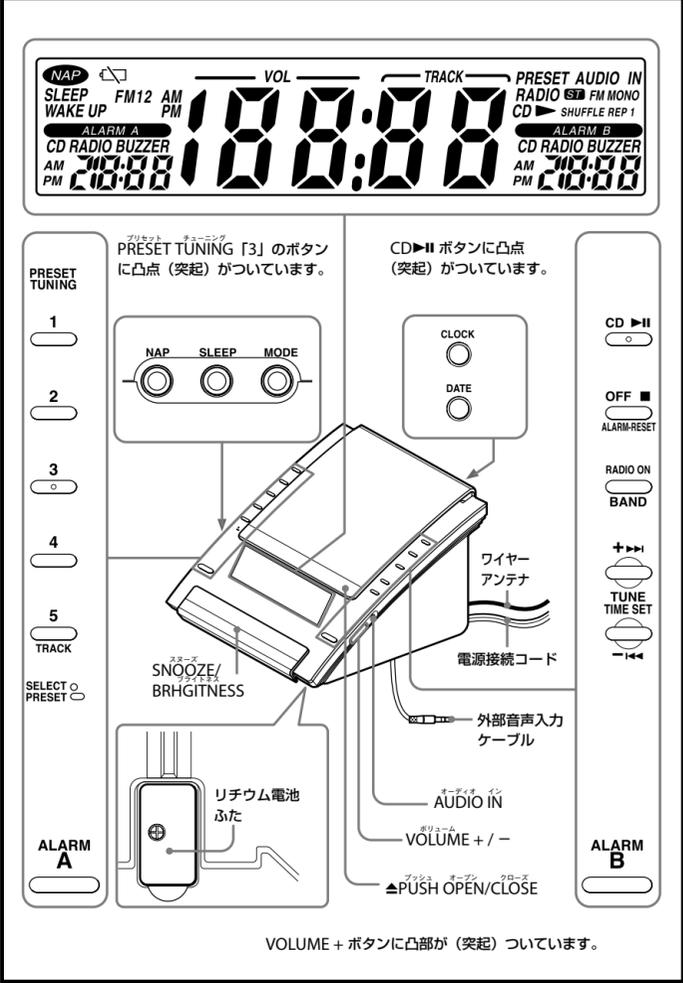
よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。　http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00
ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/

カレンダーと時計を合わせる

本機はあらかじめカレンダーと時計が設定されています。

年・月・日を合わせる

1 **電源接続コードをコンセントにしっかり差し込む。**
2 **DATEボタンを「ピッ」と確認音がするまで押したままにする。**
年月日表示の「年」が点滅します。
3 **TUNE・TIME SET ＋または－ボタンを繰り返し押して「年」を設定する。**
＋を押すと数字が進み、－を押すと数字が戻ります。ボタンを押し続けると速く変わります。
4 **「年」の設定が終了したらDATEボタンを押す。**
「ピッ」と確認音がして、年月日表示の「月」が点滅します。
5 **手順3と4を繰り返して「月」と「日」を設定し、DATEボタンを押す。**
「ピピッ」と確認音がして、年月日が確定します。

時刻を合わせる

1 **CLOCKボタンを「ピッ」と確認音がするまで押したままにする。**
時刻表示の「時間」が点滅します。
2 **TUNE・TIME SETの＋または－ボタンを繰り返し押して「時間」を設定する。**
3 **「時間」の設定が終了したらCLOCKボタンを押す。**
「ピッ」と確認音がして、時刻表示の「分」が点滅します。
4 **手順2と3を繰り返して「分」を設定し、CLOCKボタンを押す。**
「ピピッ」と確認音がします。
時刻が確定し、秒のカウントが0から始まります。

ご注意
- カレンダーまたは時刻設定中にOFF ■・ALARM-RESETボタンを押すと、設定は解除されます。
- カレンダーまたは時間設定中に約1分間何も操作されないと、設定は解除されます。

年月日を表示するには
DATEボタンを押すと、「日付け」が表示され、2秒間以内にもう一度DATEボタンを押すと「年」が表示されます。
「日付け」と「年」は約4秒間表示された後、時刻表示に戻ります。

バックライトとイルミネーションの明るさを調整する

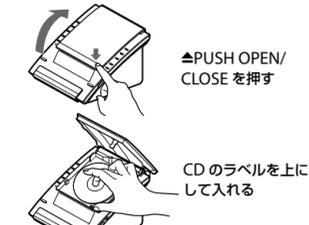
SNOOZE/BRIGHTNESSボタンを押すたびにバックライトとイルミネーションの明るさが変わります。
バックライトの明るさは、イルミネーションの明るさとともに下のように変わります。

上：バックライト
下：イルミネーション

アラームが鳴っているときにSNOOZE/BRIGHTNESSボタンを押しても明るさは変わりません。SNOOZE機能として操作できます。

CD を聞く

8 cm (3インチ) CDもアダプターなしで再生できます。

1 **⏏ PUSH OPEN/CLOSEボタンを押してふたを開け、CDを入れる。**
2 **⏏ PUSH OPEN/CLOSEボタンを押してふたを閉める。**

3 **CD►IIボタンを押す**
再生が始まると、「CD ►」と「TRACK 01」（曲番）が表示されます。
4 **VOLUME（音量）+ または－ボタンで音量を調節する。**

操作	押すボタン
一時停止する	CD►II
一時停止を解除する	CD►II（もう一度押す）
今聞いている曲を頭出しする (AMS*機能)	I◄◄（一度押す）**
前の曲、さらに前の曲を頭出しする (AMS機能)	I◄◄（繰り返し押す）**
次の曲を頭出しする (AMS機能)	►►I（一度押す）**
さらに次の曲を頭出しする (AMS機能)	►►I（繰り返し押す）**
早戻しする (サーチ機能)	I◄◄（押したままにする）**
早送りする (サーチ機能)	►►I（押したままにする）**
再生を止める	■

* AMSはAutomatic Music Sensorの略です。曲の頭を探す機能です。
** これらの操作は、演奏中にも一時停止中にもできます。

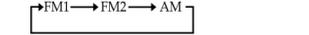
ご注意
- CDを聞いているときは、CDのふたを開けないでください。CDが壊れることがあります。
- CD►IIボタンを押してもCDが入っていないと、表示窓に“00”が5秒間点滅します。

いろいろな聞きかた (PLAY MODE)

繰り返し再生やランダム再生など、5通りの再生モードがあります。MODEボタンを押すたびに再生モードが以下のように切り換わります。

表示	再生モード
なし	通常の再生（1曲目から全曲再生）
「REP1」	1曲だけを繰り返し再生
「REP」	全曲を繰り返し再生
「SHUFFLE」	全曲を順不同に再生
「SHUFFLE REP」	全曲を順不同に繰り返し再生

ラジオを聞く—マニュアル選局

1 **RADIO ON・BANDボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**
「RADIO」が表示されます。
2 **RADIO ON・BANDボタンを押して、バンドを選ぶ。**
ボタンを押すごとに、バンド表示が変わります。
FMやTV（1-3ch）を聞く場合は、FM1またはFM2に合わせます。
→FM1→FM2→AM
FM1とFM2はPRESET TUNING（1～5）ボタンに記憶しておくときに使います。「いつも聞く放送局を記憶させて聞く－プリセット選局」をご覧ください。
3 **TUNE・TIME SET ＋または－ボタンを押して聞きたい局に合わせる。**
＋を押すと数字が進み、－を押すと数字が戻ります。
バンドの最小周波数に到達すると「ピピッ」と確認音がなります。
4 **VOLUME ＋または－ボタンで音量を調節する。**

手順3で、聞きたい局を選んでボタンをはなすと、約10秒後に時刻表示になります。

受信中の放送局を確認するには

RADIO ON・BANDボタンを押すと、約10秒間表示窓にバンドと周波数が表示されます。

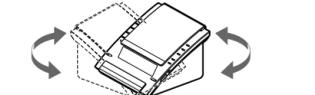
ラジオを止めるには

OFF ■・ALARM-RESETボタンを押します。

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログ放送終了後は、本機ではテレビを聞くことはできません。

受信状態を良くするには

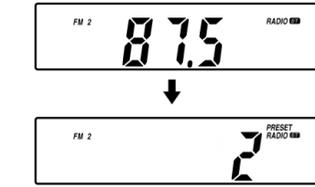
FM（TV1-3ch）放送の場合
ワイヤーアンテナをまっすぐに伸ばし、最も良く受信できる向きにしてお聞きください。

AM放送の場合
アンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる向きにしてお聞きください。（スチール机など金属面の上でお使いになると、受信状態が悪くなる場合があります。）
- 次のような場合、受信状態が悪くなることがあります。
  — 金属製の机または金属面の上に本機を置いて使用している。
  — 金属面または金属の壁の近くで本機を使用している。
  — 電源が入ったデジタルミュージックプレーヤーを本機の外部音声入力ケーブルにつないでいる。
  — デジタルミュージックプレーヤーを聞いている人の近くで使用している。
  — テレビの近くで使用している。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く—プリセット選局

いつも聞く放送局をFM1, FM2に各5局とAMに5局、合わせて15局までPRESET TUNING（1～5）ボタンに設定しておくことができます。聞きたい局の周波数を一度記憶させておくだけで、後はこれらのPRESET TUNING（1～5）ボタンを押すだけで正確な受信ができます。

放送局を記憶させる

1 **「ラジオを聞く—マニュアル選局」の手順1から3を行って、記憶させたい放送局を受信する。**
2 **記憶させたい番号のPRESET TUNING（1～5）ボタンを選んで「ピピッ」と音がするまで押したままにする。**
受信している周波数が記憶され、表示窓にプリセット番号が表示されます。

例：PRESET TUNING「2」にFM2の87.50 MHzを記憶させたときの表示

表示窓に約10秒間周波数が表示され、時間表示に戻ります。
つづけて放送局を記憶させるときは、手順1、2を繰り返します。

記憶させた放送局を変更するには

変更したい放送局を表示させ、お好みのPRESET TUNING（1～5）ボタンを「ピピッ」と確認音がするまで押したままにします。

記憶させた局を聞くには

1 **RADIO ON・BANDボタンを押す。**
2 **RADIO ON・BANDボタンを押してバンドを選ぶ。**
3 **聞きたい局が記憶されているPRESET TUNING（1 ～ 5）ボタンを押す。**
4 **VOLUME + または－ボタンを押して音量を調節する。**
約4秒後、表示窓は時刻表示に戻ります。

ご注意
上記手順3で、お好みのPRESET TUNING（1～5）ボタンを2秒以上押したままにすると、現在聞いている局が記憶され、前に記憶されていた放送局は消されます。

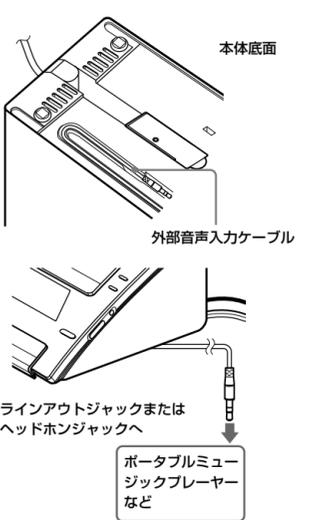
ステレオとモノラル受信の切り換え

FMステレオ放送を受信すると、「ST」（ステレオ）*が表示されます（お買い上げ時の設定）。
受信状態が悪いときは「FM MONO」に切り換えてください。ステレオではなくなりますが、雑音が減り、聞きやすくなります。

1 **RADIO ON・BANDボタンを押してラジオの電源を入れる。**
2 **RADIO ON・BANDボタンを押してFM1かFM2を選ぶ。**
3 **MODEボタンを押す。**
「ピッ」と確認音がします。
表示窓に「FM MONO」が表示されます。
もう一度MODEボタンを押すと、ステレオ受信になります。

* 受信している番組がステレオ放送のときのみ、ステレオで聞こえます。TV1-3ch を受信しているときは全ての放送がモノラルで聞こえます。

別売りの機器をつなぐ

1 **本機底面の外部音声入力ケーブルを別売りの機器（ポータブルミュージックプレーヤーなど）のラインアウトジャックまたはヘッドホンジャックにつなぐ。**

2 **AUDIO INボタンを押す。**
表示窓に「AUDIO IN」と表示されます。
3 **本機の外部音声入力ケーブルでつないだ別売りの機器を再生する。**
4 **VOLUME + または－ボタンを押して音量を調節する。**
本機のVOLUMEボタンを調節しても効果がないときは、つないだ別売りの機器のVOLUMEを調節して下さい。

別売りの機器の音を止めるには

本機の■OFF・ALARM-RESETボタンを押して、別売りの機器の再生を止める。

ご注意
- 外部音声入力ケーブルはしっかり差し込んでください。誤動作の原因になります。
- 本機のスピーカーからデジタルミュージックプレーヤーを離してお使いください。

CD やラジオ、ブザー音で目覚めるには－めざまし機能

本機ではCD、ラジオ、ブザーの3つのめざましモードがあります。時計を合わせてから操作してください（「カレンダーと時計を合わせる」参照）。

アラームを設定する

1 **「ピッ」と確認音がするまでALARM AまたはBボタンを押したままにする。**
表示窓に「時」が点滅します。
2 **TUNE・TIME SET + または－ボタンを繰り返し押して「時」を合わせる。**
TUNE・TIME SETボタンを押したままにすると、時間が速く変わります。
3 **ALARM AまたはBボタンを押す。**
「ピッ」と確認音がして、「分」が点滅します。
4 **手順2を繰り返し行い、「分」を設定し、ALARM AまたはBボタンを押す。**
「ピッ」と確認音がして、アラームの設定が確定します。
5 **TUNE・TIME SET + または － ボタンを繰り返し押してお好みのめざましモードを点滅させる。**
「CD」、「RADIO」、「BUZZER」の中から一つ選びます。
— CD：「[A] CDアラームを設定する」をご覧ください。
— RADIO：「[B] ラジオアラームを設定する」をご覧ください。
— BUZZER：「[C] ブザーアラームを設定する」をご覧ください。

[A] CD アラームを設定する

お好みのCDの曲から再生することができます。CD再生モードが「SHUFFLE」または「SHUFFLE REP」に設定されていた場合、全曲を順不同に再生します。

1 **「アラームを設定する」の手順1から5までを行う。**
2 **ALARM AまたはBボタンを押して「CD」アラームモードを選択する。**
「ピッ」と確認音がして、表示窓に「WAKE UP TRACK」と表示されます。
3 **TUNE・TIME SET + または － ボタンを繰り返し押してお好みの曲番を選ぶ。**
4 **ALARM AまたはBボタンを押す。**
「ピッ」と確認音がして、表示窓に「WAKE UP VOL」と表示されます。
5 **TUNE・TIME SET + または － ボタンを繰り返し押して音量を調節する。**
VOLUME + または－ボタンでも調節することができます。
6 **ALARM AまたはBボタンを押す。**
「ピピッ」と確認音がして、設定が確定します。
「ALARM A」または「ALARM B」と「CD」が表示窓に表示されない場合は、もう一度ALARM AまたはBボタンを押してください。
設定された時刻になると選んだ曲から再生が始まります。

ご注意
ディスクエラーが起こっていたり、ディスクが入っていない、CDのふたが開いている等の理由でCDアラームが動作しない場合、ブザーアラームに切り換わります。

[B] ラジオアラームを設定する

お好みの記憶させた局をアラームとして鳴らすことができます。

1 **「アラームを設定する」の手順1から5までを行う。**
2 **ALARM AまたはBボタンを押して「RADIO」アラームモードを選ぶ。**
プリセット番号が点滅し、表示窓に「WAKE UP PRESET」または「WAKE UP - -」と表示されます。
3 **TUNE・TIME SET + または － ボタンを繰り返し押してお好みのプリセットされた局を選ぶ。**
押すたびに次のように切り換わります。
→ -- ←→ FM1 PRESET 1 – 5 ← AM PRESET 1 – 5 ↔ FM2 PRESET 1 – 5
プリセットしていない場合は「- -」が表示されます。そのときは、最後に聞いていた放送局が受信されます。
「- -」が表示していないときに、RADIO ON・BANDまたはPRESET TUNING（1 ～ 5）ボタンを押して直接予約したい放送局を選ぶことができます。
4 **ALARM AまたはBボタンを押す。**
「ピッ」と確認音がして、表示窓に「WAKE UP VOL」と表示されます。
5 **TUNE・TIME SET + または － ボタンを繰り返し押して音量を調節する。**
VOLUMEボタン + または－でも調節することができます。
6 **ALARM AまたはBボタンを押す。**
「ピピッ」と確認音して、設定が確定します。
「ALARM A」または「ALARM B」と「RADIO」が表示窓に表示されない場合は、もう一度ALARM AまたはBボタンを押してください。
設定された時刻になると選んだ放送局を受信します。

[C] ブザーアラームを設定する

1 **「アラームを設定する」の手順1から5までを行う。**
2 **ALARM AまたはBボタンを押して「BUZZER」アラームモードを選ぶ。**
「ピピッ」と確認音がして、設定が確定します。
「ALARM A」または「ALARM B」と「BUZZER」が表示窓に表示されない場合は、もう一度ALARM AまたはBボタンを押してください。
設定された時刻になるとブザー音が鳴ります。

ご注意
ブザーアラームは音量を設定することはできません。

アラームを ON にする

ALARM AまたはBボタンを押してアラームをセットします。表示窓に「ALARM A」または「ALARM B」が表示していないと、アラームは働きません。アラームの設定はアラームがセットされたときのみ確認できます。
（例）現時刻11:30PMで、ALARM AにCDアラームが朝7:00にセットされているときの表示

PM ALARM A CD AM 7:00 11:30

ディスクが入っていないときは、ブザーアラームが鳴ります。
ブザー音は数秒ごとに3段階に分かれて音が大きくなります。

ご注意
ALARM AまたはBが同じ時間に設定されている場合、ALARM Aが鳴ります。

もう少し眠っていたいときは－めざましくりかえし機能

1 **SNOOZE/BRIGHTNESSボタンを1回押す。**
表示窓に「10」が表示され、CD、ラジオ、ブザー音がいったん止まり、約10分後に再び鳴ります。
SNOOZE/BRIGHTNESSボタンを押すたびに設定時間が次のように変わります。
10 → 20 → 30 → 40 → 50 → 60
数秒間設定時間が表示され、現時刻に戻ります。
現時刻が表示された後に、再度SNOOZE/BRIGHTNESSボタンを押すと、設定時間は「10」に戻ります。
めざましくりかえし時間は最長は60分までです。

アラーム音を止める

OFF■・ALARM-RESETボタンを押す。
翌日も同じ時間にめざましが鳴ります。

CD、ラジオ、ブザー音は鳴ってから60分後に自動的に止まります。

めざまし機能を解除する

ALARM AまたはBボタンを押して、表示窓の「ALARM A」または「ALARM B」を消します。

停電になったときのご注意
停電になったとき、アラーム機能はリチウム電池がなくなるまで働きますが、以下のようになります。
- 表示窓の表示やバックライト、イルミネーションはつきません。
- アラームモードがCDアラームまたはラジオアラームのとき、自動的にブザーアラームに切り換わります。
- アラームが鳴っているときに停電になった場合、アラームは止まります。
- ブザーアラームが鳴ってOFF■・ALARM-RESETボタンを押さない場合、約5分後に自動的に止まります。
- 「電池マーク」が表示されたら、停電のときにブザーアラームは鳴りません。新しいリチウム電池と交換してください。
- 停電になったときは、SNOOZE/BRIGHTNESSボタンは働きません。

おひるねタイマーを設定する

設定した時間が過ぎるとブザーが鳴ります。

1 **NAPボタンを繰り返し押して何分後にブザーを鳴らすかを選びます。**
押すごとに設定時間が以下のように変わります。
OFF → 10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → OFF
時間が設定されると「NAP」が点灯し、設定した時間が数秒間表示されます。
設定された時間が過ぎると表示窓の「NAP」が点滅し、ブザーが鳴ります。ブザーが鳴ってから約60分後、自動的に止まります。

ブザーを止めるには

NAPボタンまたはOFF■・ALARM-RESETボタンを押す。

おひるねタイマー機能を解除する

NAPボタンを押して表示窓の「NAP」を消す。

おやすみタイマーを設定する

おやすみタイマー機能はCDやラジオ、AUDIO IN入力の音を聞きながら眠ることができます。設定した時間が経過すると自動的にCDやラジオ、AUDIO IN入力の音を消すことができます。

1 **CDまたはラジオ、別売りの機器を再生中、SLEEPボタンを押す。**
押すごとに設定時間が以下のように変わります。
→ OFF → 90 → 60 → 30 → 15 →
おやすみタイマー機能が開始されると、表示窓に「SLEEP」が表示されます。
設定した時間が経過すると、CDまたはラジオ、AUDIO IN入力からの音が止まります。

途中で止めたいときは

OFF■・ALARM-RESETボタンを押す。